

近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託 優先交渉権者選定公募型プロポーザル審査委員会

審査結果について

四日市市では、2027年東京一名古屋間のリニア中央新幹線の開通による経済効果を最大限に享受し、本市が将来にわたり中部圏域で存在感を発揮し、中核的役割を果たしていくために、近鉄四日市駅・JR四日市駅の交通結節機能を高めるとともに、駅周辺区域の歩行空間を含む空間の高質化に取り組んでいます。

近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事では、県下最大の交通結節点において、バス・タクシーの公共交通を供用しながら、沿道への交通影響も最小限かつ短期間に抑えられるよう、施工計画を検討する必要があります。

施工区域は中心市街地に位置し、駅周辺は通過交通も多く、十分な施工ヤードの確保も難しい状況で、輻輳する工事間の調整を行いながら、限られた工程の中で、コスト縮減も視野に最良な施工計画の検討を行うことが望まれます。

こうした施工計画検討を進めるためには、設計コンサルタントによる施工計画検討だけでは限界があることから、施工者の高度な技術・意見を実施設計に反映し、工期短縮や建設コストの縮減を図る手法である「優先交渉権者技術協力方式」を採用し、優先交渉権者候補をプロポーザルにて選定いたしました。

1 審査結果

優先交渉権者候補： 大成・信藤・中村特定建設工事共同企業体

次点優先交渉権者候補： 大林・アイトム・日進特定建設工事共同企業体

2 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	有賀 隆	早稲田大学大学院	創造理工学研究科建築学専攻	教授
委員	松本 幸正	名城大学	理工学部社会基盤デザイン工学科	教授
委員	村山 顕人	東京大学大学院	工学系研究科 都市工学専攻	准教授
委員	伴 光	四日市市	都市整備部	理事
委員	村田 孝幸	四日市市	都市整備部	市街地整備・公園課長
委員	佐藤 恒樹	四日市市	政策推進部長	
委員	渡辺 久晃	四日市市	商工農水部	理事

3 審査日時

第1次審査：令和4年3月16日(水)13時30分～17時15分(出席委員7名)

第2次審査：令和4年3月23日(水)9時30分～16時45分(出席委員7名)

4 審査経緯

- (1) 令和3年12月1日に実施要領等を公表するとともに公募を行いました。
- (2) 令和3年12月8日に事前説明会を開催し、令和3年12月22日までの参加申込書類提出期間に、4者から参加申込書類を受理しました。
- (3) 参加申出者の参加資格要件について確認した結果、4者とも要件を満たしていたため、令和4年2月28日までの技術提案書類等提出期間に、4者から技術提案書類を受理しました。

※技術提案書提出順

- ・ 鹿島・朝日土木・サンエイ特定建設工事共同企業体
 - ・ 清水・久志本・五十嵐特定建設工事共同企業体
 - ・ 大林・アイトム・日進特定建設工事共同企業体
 - ・ 大成・信藤・中村特定建設工事共同企業体
- (4) 第1次審査として、4者の参加申込書類及び技術提案書類等について審査並びに審議を実施し、得点評価を行った結果、全4者を第2次審査対象者としました。
 - (5) 第2次審査として、第2次審査対象者4者（全て匿名）による30分以内のプレゼンテーションと30分程度の質疑応答を実施し、技術提案内容や質疑への対応等について審査並びに審議を実施し、得点評価を行いました。
 - (6) その集計を行った結果、第1次審査の得点と第2次審査の得点を合計した総合得点が最も高かった大成・信藤・中村特定建設工事共同企業体を本件業務委託の優先交渉権者候補、次に総合得点が高かった大林・アイトム・日進特定建設工事共同企業体を次点優先交渉権者候補とすることについて、審査委員会において確認を行い、各候補者の選定に至りました。

5 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託 優先交渉権者公募型プロポーザル 評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり示します。

**近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者選定公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

（第1次審査）

評価項目			評価基準	配点		様式
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)	
参加申込書類 についての評価	事業者要件	業務実績	同種・類似業務実績の内容・規模、件数等を評価する	30	60 【26.1%】	様式2-1-1 様式2-1-2 様式2-1-3
		業務実績	デザイン関連の受賞歴を評価する	10		様式2-3
	配置技術者の 経験及び能力	管理技術者	実績業務の内容・規模、件数等を評価する	20		様式2-2-1
技術提案書類 についての評価	業務内容に係る 技術提案 (実施方法)		技術検証ポイントと実施設計へのフィードバック方法	15	170 【73.9%】	様式5-2
			仮設計画・維持管理などの実施設計へのフィードバック方法	15		
			業務概略スケジュールと具体的な業務内容・想定される課題と 解決策の提示	15		
			その他、技術協力業務を効率的に進めるための具体的な提案	15		
	業務内容に係る 技術提案 (実施体制)		技術協力業務の体制	20		様式3 様式5-3-1
			施工管理段階の体制	20		様式5-3-2
	四日市市内の 建設事業者の 活用方法	四日市市内の建設事業者への下請けの発注などの積極的活用の具体 策	10	様式5-3-3		
特定テーマ	特定テーマについて評価する。 (敷地状況、既往計画の理解等について重視し評価を行う。)	60	様式5-4-1 様式5-4-2 様式5-4-3			
合 計				230	230 【100%】	

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、
 以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【技術提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②、③の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】

**近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者選定公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

(第2次審査)

評価項目			評価基準	配点		様式	
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)		
ヒアリングによる評価	技術力要件	特定テーマ i	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-1	
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する	10			
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10			
			提案の実現性について評価する	10			
		特定テーマ ii	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-2	
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する ※特に鉄道近接への課題解決方法が具体的に記載されているかについて評価する。	10			
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10			
			提案の実現性について評価する	10			
		特定テーマ iii	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-3	
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する	10			
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10			
			提案の実現性について評価する	10			
		取り組み姿勢	技術提案に対する補足説明の的確性および取り組み意欲について評価する	20	50 【30%】	-	
		専門性 コミュニケーション	質問を通した専門知識及び応答における明確性、コミュニケーション能力を評価する	30			
	合 計				170	170 【100%】	

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【技術提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②、③の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】

6 審査講評

本プロポーザルの審査は、学識者及び本市職員の合計7名で構成された近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託 優先交渉権者公募型プロポーザル 審査委員会において厳正かつ公正に行いました。

審査経過を振り返りますと、参加意向申出は4者から提出され、いずれも国内において、本工事と同種又は類似の工事实績を多数有する者からの応募となりました。

技術提案においては、業務実施の実施方法及び実施体制、四日市市内の建設事業者の活用方法に加え、以下に示す3つの特定テーマについて提案を求めました。

【特定テーマ】

- ① 工事全体における現道交通への通行障害による影響の最小化（公共交通の定時性確保）、歩行者の安全確保など周辺環境における課題解決についての提案
- ② 今回の工事においては、軟弱地盤上の長杭（支持層50m程度を想定）の施工が施工計画上の大きなポイントとなると想定している。施工上の課題整理を行った上で、その課題に対する解決策の提案を具体的に行うこと。その際、下記の内容については、漏れなく記載すること。
 - ・近鉄軌道、百貨店など構造物や建築物との近接施工について
 - ・施工時の騒音、振動等の環境対策について
 - ・歩行者用デッキ上部工における狭小ヤードでの施工について
- ② 今回の工事においては、一部にレインガーデン等のグリーンインフラを導入する予定となっている。また、基本計画の共通のデザイン方針には「緑あふれる施設配置」「歴史や緑を活かした空間の設え」が目標として記載されており、既存樹木を可能な限り残置する計画としている。道路工事、橋梁上部工・下部工に加え、一部造園技術が求められる工事内容となるが、高木（樹高10m以上）に近接した土木工事、高木（樹高10m以上）の移植（移動距離100m以内）における施工上の課題整理と課題に対する解決策の提案を行うこと。

各参加者からは、各テーマの意図や敷地状況、既往計画を十分に踏まえたうえで、各者が有する専門的知見やこれまでの工事实績により培ったノウハウ等を組み合わせることにより、それぞれの特徴が盛り込まれた提案がなされました。

なかでも、優先交渉権者候補として選定された、「大成・信藤・中村特定建設工事共同企業体」（以下、「優先交渉権者候補」）及び次点優先交渉権者候補「大林・アイトム・日進特定建設工事共同企業体」（以下、「次点優先交渉権者候補」）については、現地状況ならびに与条件を精緻にとらえ、四日市市の玄関口としてふさわしいデザインを具現化できる体制、技術力、豊富な経験を踏まえた提案であったことから、高い評価としました。

優先交渉権者候補は、発注者や設計者のデザイン意図を受け止める技術支援業務体制の提案、あすなろう連絡橋の撤去時期を遅らせて駅利用者の利便性を極力維持するためのデッキ架設

順序の工夫、上部工の分割架設による片側2車線通行を可能とする周辺への交通影響を最小限に抑える施工ヤードの提案、特殊技術を採用した杭種の変更により工程短縮を図る提案などを行い、これらは独自の技術提案力を駆使した、特に優れた提案であると判断しました。

また、優先交渉権者候補、次点優先交渉権者候補とも、安全性に配慮したデッキ架設順序をわかりやすく提示し、コスト縮減・工期短縮の具体的な目標数値を掲げている点も加点要素と判断しました。

また、優先交渉権者候補は事前に市内建設事業者と協力体制を構築し、地元経済・技術力向上に寄与する方針についても他の事業者より踏み込んだ提案となりました。

これらに加えて、他の評価項目も含めた総合的な評価に基づき、大成・信藤・中村特定建設工事共同企業体を優先交渉者候補として選定しました。

7 最後に

本プロポーザルへの参加者が5者以内であったことから、上記4者ともに第1次審査及び第2次審査を実施し、各審査における委員の評価及び得点を確認し、優先交渉権者候補及び次点優先交渉権者候補の選定に至りました。

7人の委員におかれましては、それぞれの専門分野から、これまでの経験と知識を結集して審査を行い、その結果、近鉄四日市駅周辺整備において重大な役割を担うにふさわしい技術協力業務の優先交渉権者を選定することができたと考えています。

今後、本業務により最良な施工計画が作成され、事業が進んでいくこととなりますが、四日市市の玄関口に相応しい駅前空間となる「近鉄四日市駅周辺整備」が成功裏に無事完了されることを心より祈念申し上げます。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御参加いただいた提案者の皆様に敬意を表すとともに、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた選定委員各位並びに関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます、審査講評といたします。

令和4年3月25日

近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託

優先交渉権者 選定公募型プロポーザル審査委員会

委員長 有賀 隆